

広 報



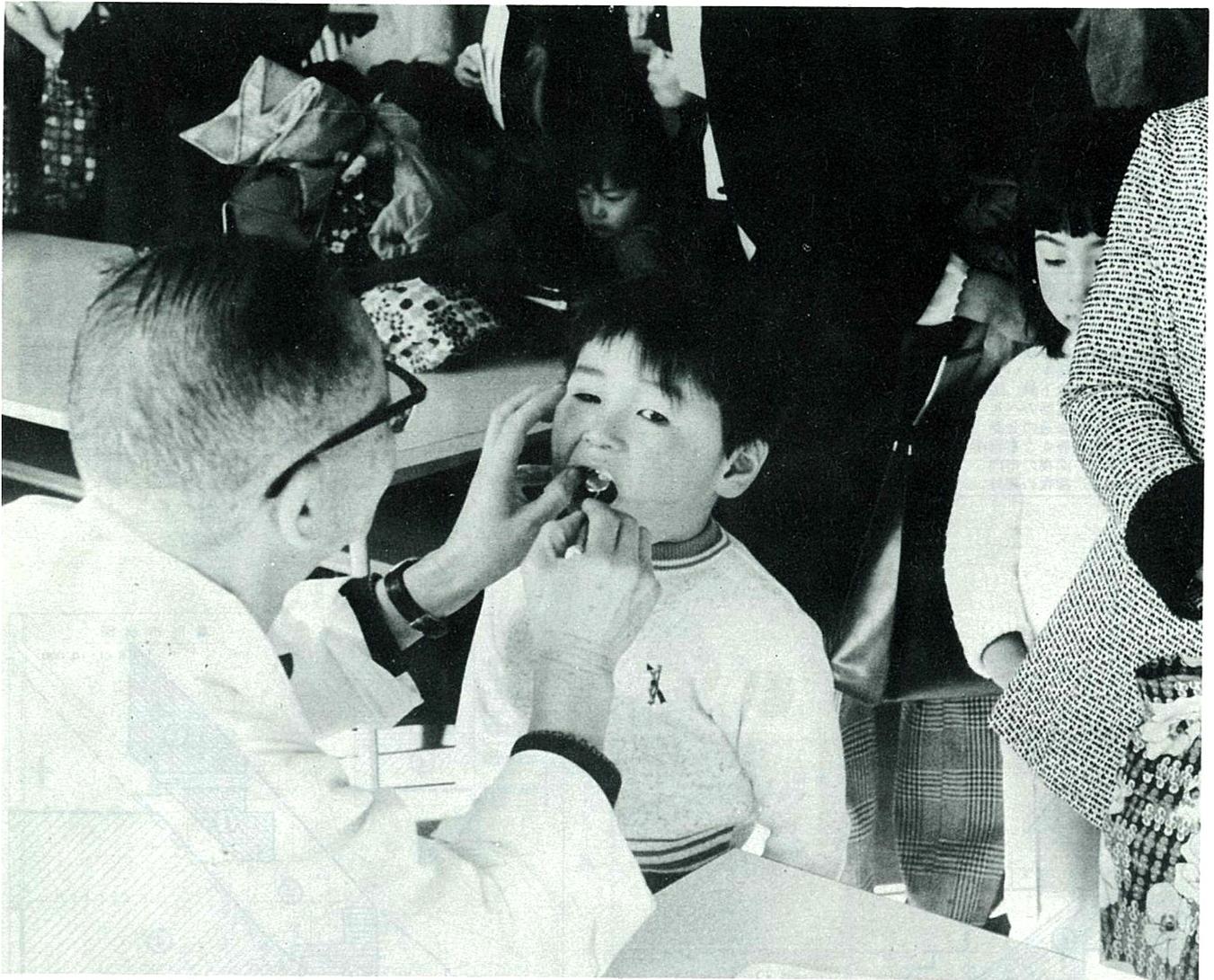
まくべつ

49・2・15

町のうごき

人 口	18,998人
男	9,537人
女	9,461人
世帯数	4,470戸
	(48.12現在)

発行 幕別町役場 / 編集 町民課広報係 / 電話④2111番 / 印刷 大同出版(株)



元 気 で ……入学してネ

就学前の健康診断

「ぼく寒くなんかないゾ!」……。元気な声が教室いっぱいにひびく。ことし入学予定児、全町で299人を対象に、町内の各小学校で1月28日から2月6日までの間に健康診断がおこなわれました。

内科、目、耳、鼻、歯の診断、身体、体重の測定、やさしい知能テストなど。つきそいのお母さんたちも緊張気味です。

これら、次の世代を背負って立つ、よい子たちは4月から小学校に通うこととなりますが、健康診断の結果、悪かったところは早くなおして、元気に入学日をまちましよう。

この広報のモデルになったお子さんに写真をおあげしますので役場広報係までおいでください。

新しい指定地域の騒音規制

最近、騒音による公害問題は都市を中心に全国共通な社会問題として取り上げられるようになってきました。

このようなことから、国では昭和四十三年六月に公害対策基本法に基づき工場騒音建設騒音を対象とする騒音規制法が制定され、同年十二月一日より施行されており、その後、急激な経済社会の発展、自動車交通量の増加など、社会情勢の変化に伴い騒音による生活環境の悪化が著しくなりこれらの対策として、指定地域の拡大、自動車騒音の規制などについて、昭和四十五年十二月二十五日、法の一部が改正され、追加されました。

道では、昭和四十八年十二月付で幕別町が指定され、昭和四十九年一月一日より施行されています。

この法の円滑な運営をはかるため、特に知っていただきたい事項を次に説明いたしますのでよくその趣旨、内容を理解され、騒音防止にご協力ください。

第一

騒音規制法は、工場、事業場における事業活動、建設工事及び自動車の運行によって発生する騒音について必要な規制を行なうことにより、生活環境を保全し地域住民の健康に資することを目的としております。

第二 規制される騒音

- (1) 工場、事業場から発生する騒音
- (2) 建設作業によって発生する騒音
- (3) 自動車の走行に伴って発生する騒音

第三 規制する地域の指定

町の市街地を第一種から第四種区域に区分して指定しております。

第一種区域—良好な住居の環境を保全するため特に静穏の保持を必要とする区域

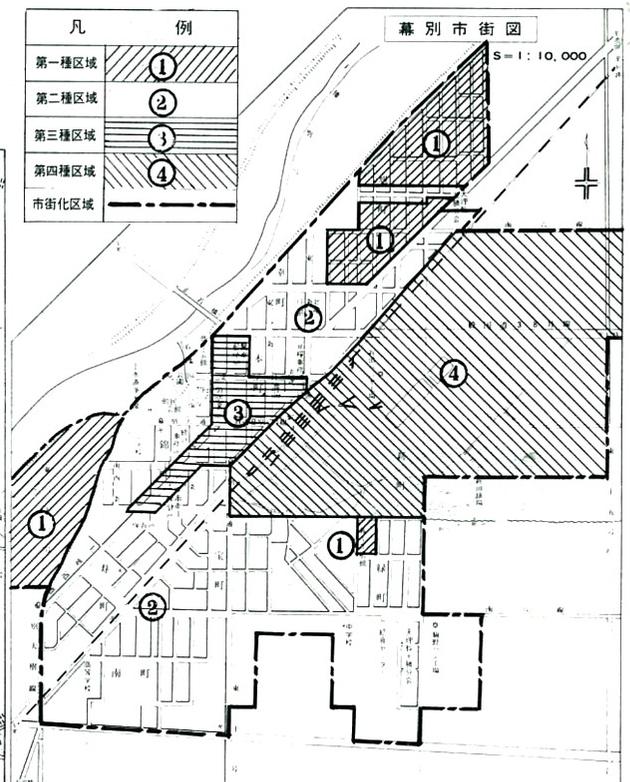
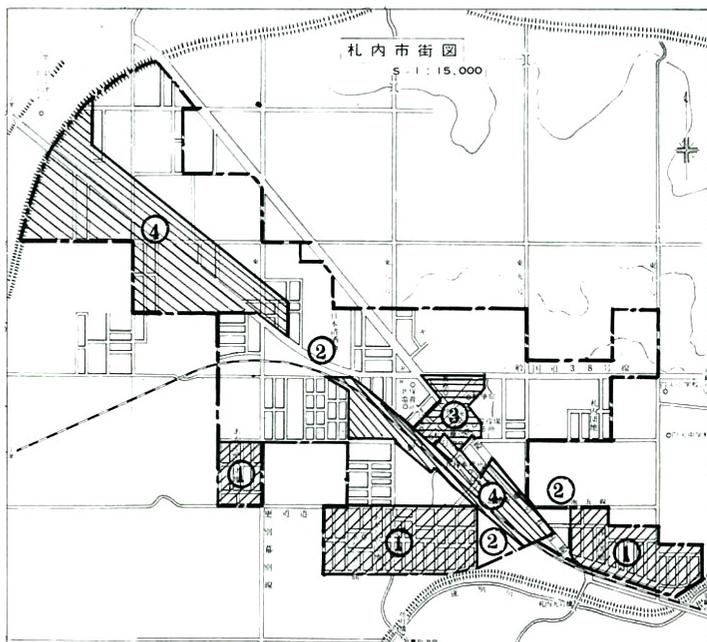
第二種区域—住居の用に供されているため、静穏の保持を必要とする区域

第三種区域—住居の用に供されている商業工業などの用に供されている区域でその区域内の住民の生活環境を保全するため、騒音の発生を防止する必要がある区域

第四種区域—主として工業の用に供されている区域であって、その区域の住民の生活環境を悪化させないため著しい騒音の発生を防止する必要がある区域。

規制基準	朝	夕	昼	夜
	6.00~19.00	8.00~22.00	8.00~19.00	20.00~翌日 6.00
第1種区域	40ホン	40ホン	45ホン	40ホン
第2種区域	45	45	55	40
第3種区域	55	55	65	50
第4種区域	65	65	70	60

音のいろいろな大きさ	
110ホン	自動車の警笛(前方2m)・リベット打ち
100	電車が通るときのガード下
90	騒々しい工場の中
80	地下鉄、国電の中
70	電話のベル
60	普通の会話
50	静かな事務所
40	深夜の市内
30	深夜の郊外



凡	例
第一種区域	①
第二種区域	②
第三種区域	③
第四種区域	④
市街化区域	—

待望の十万吨を突破

町内のビート総収量

昭和47年度

昭和四十七年度の本町のビート総収量が、待望の十万吨を突破し十一万七千七百三十三トンとなり今までの最高だった昭和四十五年の九万一千トンを大きく上回りました。

日甜幕別原料事務所のまとめによりますと、昨年、農業経営にビ

ートを組入れた方は九百三十四戸作付総面積は二千三百十畝、一畝あたり五十・九五〇トンを収穫、待望の万台に達しました。

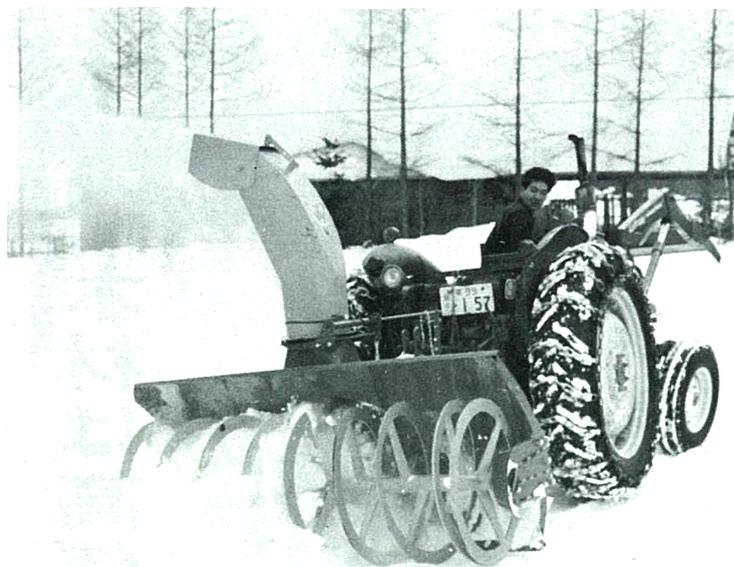
このように高収量をあげることが出来たことは、農家の皆さんの努力のたまものであり、これとともに移植の普及も、みのがすことは出来ません。

作付総面積二千三百十畝のうち

移植面積は二千畝と、総面積の八六・五%に達しております。

ことしも間もなく春の農作業の季節を迎えますが、寒地農業の経営に欠かすことの出来ないビートの栽培について、家族全員で検討し、計画をたてましょう。

なお、紙筒を十五センチと、従来より長くするほか、高畝栽培などを実施することによって、今後ともビートの増収は可能ですのでこれら技術的な面については普及所、日甜幕別原料事務所、または町および幕別、札内農協の担当者にご相談ください。



スノーブラオ威力発揮

四十七年度に十二台導入

降雪が少なく寒さがきびしい、というのが、今までの十勝の姿でしたが、このところ雪の量は年々多くなり、町では町有の全車輛に民間の除雪車をチャーターして道路網の確保にあたっています。

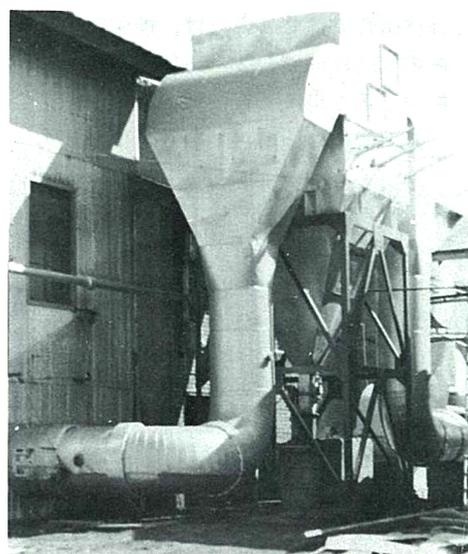
だが、町道が多いため、集乳路線のみを再三にわたって除雪することは困難なところから、農家が所有しているトラクターに取りつけ排雪するスノーブラオの購入を助成し、好成果をあげています。

この助成は去る昭和四十五年度から実施し、四十七年度の十二台を含め、計三十六台のスノーブラオが、集乳路線、農家の庭先きの排雪に威力を発揮しています。

写真は排雪するスノーブラオ

許容量以下の煤煙

新田ベニヤで
一煤煙集塵装置を取付け



最近、大きな社会問題になってくるものに公害があり、これの防止対策が、各地で騒がれています。新田ベニヤ十勝工場（秋山福治常務取締役十勝工場長）では、最新型の煤煙集塵装置を設備し好成績をあげています。

公害の防止は、企業の責任において実施しなくてはなりません。だが、付近の住民が騒ぎたてたの

ち防止装置を取りつけるといふ例が多く、この点、いちはやく煤煙集塵装置を取りつけた新田ベニヤの姿勢は、高く評価されています。なお、大気中に放出される煤煙の許容量は一立方メートルにつき〇・四と定められています。新田ベニヤで装置を設備した後の測定では〇・一九〜〇・二とという好成绩でした。

写真は新田ベニヤの煤煙集塵装置

火の元にご注意

い、取り扱いもルーズがちとなります。火災は、このような時に最も発生いたします。火の元には十分に注意しましょう。もし次のような場合には、あわてることなく適切な処置をとりましょう。

- 携帯用の石油ストーブを倒し燃えあがったときすぐ近くの座ぶとん、毛布などをかぶせてください。
- フライパンに火が入った時プロパンのスイッチを切り青い野菜を大量に入れ、大き目のフタをして戸外に出しましょう。

木材は高値をみせています



ら三〇%の上昇をみせ、また、全国的な木材資源の不足から、百石あたり三十万円前後の線に定着するものと考えられています。

国、道で補助金を増額

このように、今後の木材関係はたいへん期待されており、特に、二十年先、三十年先の木材需要の増加は目に見えております。木材が高く売れるようになってから植林するようでは、計画的な植林とは言えません。

造林家の皆さんにも、いろいろと事情があることと思いますが、困難な状況にあっても着実に植林を続けることが、最も大切なことで国や道でも造林補助金を増額して植林をすすめております。

※ 昭和四十八年度は四十七年度より二万円前後増額となります。

どうか、伐採して、そのまま放置している方、または植林適地のある方は、一日でも早く、すこしでも多く植林することを、おすすめいたします。

からまつ苗木は森林組合に申し込みし、春造林の準備にとりかかると、ご家族で検討ください。

町内林業者の努力によって、現在、町内で造林されている「からまつ」は四千五百鉢を数えております。だが、昨年度来からの木材価格の低迷と労力不足などから、本年度の造林計画は前年度より大きく下回りをみせ、関係者を心配させております。

今までの木材価格は、他の物価の上昇に遅れていたことは事実ですが、本年に入ってから二〇%か

雪害で曲った幼齡樹を救いましょう

昨年十二月はじめの湿雪により町内のからまつ幼齡樹は大きな被害をうけました。

これは樹幹が細いことと、根張りが弱いために起きた被害で、造林家にとって頭の痛いことと思っております。

これの対策として、春先き、雪の量が少なくなった時期に、細縄のような「ヒモ」で徐々に木を引

っぱり起してやりますと、若い林分は元通りになります。被害にあった若い林分をもっている方は、是非、この作業を行ない、大切な財産を保護するようにしましょう。

三月に全町剣道大会を開催

幕別町剣道連盟（大久保正司会長）では、三月十一日（日）午前十時から町および教育委員会など後援のもと、全町剣道大会を開催することになりました。

試合は小学生の部、中学生の部、高校生の部、一般の部にわかれて

おり、最近の剣道人口の増加からかなりの賑わいになるものと、主催者側ではみております。なお、大会の詳しい内容は後日決定し、大会参加者に連絡されますが、大会参加希望者は早目に役場内の山口秀勝、橋本正司あて、お申し込みください。

鏡開き大会賑わう

町剣道連盟と町柔道連盟の鏡開き大会が、二十一日に何れも町青少年会館で開催されました。

剣道は、中里地区の少年剣士を迎えての紅白試合を、柔道は会員を紅白にわけての練習試合で汗を流し、のち、雑煮や汁粉を腹いっぱい詰めこみ、更に精進を誓いあいました。

写真は剣道、柔道の鏡開き風景

種目	品種	区分	価格	品目
しいたけ	1610	丸クサビ種駒	1,000コ入 1,120	明治式
〃	1303	〃	〃	〃
〃		オガ菌	1,600コ入 700	〃
〃	127	丸クサビ種駒	1,000コ入 1,220	森式
〃	つき	〃	〃	〃
なめこ		〃	1,000コ入 1,120	明治式
〃		〃	1,000コ入 1,220	森式
たもぎ茸	ゴールデ ンシメジ	オガ菌	500cc 350	〃
フーロー			200	明治式
打込機	駒用打込機	C型	1,020	〃
〃	オガ菌用打込機		1,060	〃
〃	丸ノ	ミ	550	森式

しいたけ種駒斡旋

町森林組合では、しいたけ、種駒を斡旋しています。

▶申し込み期間 2月15日から3月10日まで

▶申し込み場所 町森林組合（旧商工会館）

なお、価格は上の表の通りです。



高齢者に温泉を無料開放

「70歳以上の町民」

老人福祉の充実に着々と前進

町では、幕別町発展の基礎をきずいてくださった七十歳以上の方々に、幕別温泉ホテルを常時、無料で開放しております。

すでに、高齢者のお手元に、無料パスが届いていることと思いますが、該当する方で、まだ届いていないときは、役場民生課、支所または出張所に、ご連絡ください。温泉に入ったのち、お休みしていただく部屋も用意しております。遠慮なさらずに利用し、元氣な毎日をお送りください。

利用される方は無料パスをお志

れなくご持参ください。

なお、町民の皆さんにお届けしてあります「町民無料券」は、三月いっぱいまで有効ですが、三月になりますと、多くの方が利用し、相当な混雑をきたすものと思っております。

まだ、利用していない方は、早目に利用されるよう、お願いいたします。

老人医療無料化の

内容が変更しました

今まで町独自で実施してまいりました老人医療の無料化が、去る一月一日から老人福祉法が改正され、今後は国でおこなうことになりました。このため、七十歳以上の該当者は病院の窓口でお金を支払う必要がなくなりましたので、ご承知おきください。

このほか、七十歳以上の方でも本人の所得がある方配偶者または扶養義務者の所得が多い方は該当になりませんが、これらの方々は町の条例によって医療費支給対象者となりますので、今までのように病院の領収書を町までご持参ください。

なお、無料化の該当者は七十歳の誕生日の属する月の初日からとなっております。該当する方は役場民生課に

ご連絡ください。

小中学校を修理

技能士会で技術奉仕

技能士会幕別部会（木村優会長）では、年間行事の一つとして一月十六日、十八日、十九日の三日間にわたって、公共施設の修理に技術奉仕をおこないました。

幕別部会は、十勝管内で最も活動的で、しかも会員は七十五名という大組織。

各種の技術者の組織であり、この写真は技術奉仕する幕別部会の皆さん



の技術で社会奉仕をしようと、このほど、町内公共施設の修理を、町に申し出がありました。

一行は、町のマイクローバスで町内を巡回し、各小中学校、公民館の椅子、机、壁、天井の張りかえや、窓の修理などに、使いなれたノコや金づちを振って、またたく間に修理し、初の技術奉仕は、たいへん感謝されました。

岡山県人会が

結成されました

岡山県下から本町に移住、開拓に従事した方々および関係者で、岡山県人会が結成されました。

一月二十一日に町民会館で設立準備会が開かれ、種々検討した結果、これを発起人会に切りかえて次の役員を選びました。

岡山県下から開拓のため本町の相川地区に団体入植したのは明治二十九年、これら団体入植の前後

に個人で入植し開拓に従事した方々も多く、幕別発展につくした功績は大きいものがあります。

岡山県人会では、新見市と幕別町との産業、文化の交流、郷土墓参、会員の親睦などを主な事業目的として定期的に会合を開き、郷土岡山のことなどを語りあうことにしていますので、多くの方々の入会を希望しています。入会希望者は事務局（役場内）または正副会長、世話人にご連絡ください。

▽会長―富谷政男　▽副会長―藤平清志

▽世話人―富谷晴一（軍岡）
勝山春代（本町）、長尾 千代之（本町）、新田徳恵（軍岡）、服部間一（新和）、稲上掬英（相川）
妹尾太郎（相川）、坂口清（相川）
坂口虎一（相川）、柳井寛一（猿別）、宮脇正（相川）

▽事務局―田井浩、宮本大正、武田衛。

篤志寄付者のお名前

☆千円

匿名の方から恵まれない子どもさん達に五百円、交通安全に五百円が、それぞれおくられてきました。

☆三万円

千住の網島静夫さんが交

☆五万円

通事故撲滅のために使っほしいと、町交通安全協会に寄付しました。

幕別温泉ポウルハイツ、オープン記念チャリティボールで三万六千三百八十四円、ポウルハイツが一万三千六百十六円を寄付、計五万円を町社協へ

